

新時代の日米経済関係の構築 (「日米経済研究会 2016」提言) 【要旨】

日米経済研究会 2016

飯塚 恵子	読売新聞社編集局国際部長
石黒 不二代	ネットイヤーグループ株式会社 代表取締役社長兼CEO
稲葉 延雄	株式会社リコー取締役 リコー経済社会研究所常任参与
久保 文明	東京大学大学院法学政治学研究科教授
久保田 政一	日本経済団体連合会事務総長
小島 順彦	三菱商事株式会社相談役
小平 信因	トヨタ自動車株式会社取締役
野上 義二	日本国際問題研究所理事長
村上 由美子	OECD東京センター所長
山崎 達雄	国際医療福祉大学特任教授
チャールズ・レイク	アフラック・インターナショナル ・インコーポレーテッド取締役社長
渡邊 頼純	慶應義塾大学総合政策学部教授

平成 28 年 11 月 11 日

本日米経済研究会は、本年 9 月から、国際経済及び日米二国間経済関係に関する現状認識を踏まえつつ、また、ドナルド・トランプ次期大統領による大統領選挙中の経済政策に関する発言も念頭に置きながら、いかにしてこれからの日米経済関係を活性化し、深化させていくことができるかについて、集中的かつ忌憚のない意見交換を行った。

この意見交換は、「日本の成長と繁栄のためにいかなる日米経済関係を構築していくべきか」、「日米両国はいかにして、双方の成長と繁栄のために協力し、アジア太平洋地域の成長と繁栄を引き続き主導していくべきか」との問題意識の下に行われ、今般、以下の 4 本の柱からなる提言をとりまとめ、外務大臣に報告する。

提言Ⅰ：日米経済関係の一層の進展・深化とそれを基盤とした協力を推進すべき

新大統領選出後も、米国内では自由貿易に対する不安や内向き志向の論調が引き続き看取されるが、自由な貿易・投資は日米双方の成長と繁栄の源泉であり、新時代の日米経済関係を構築していくに当たり、貿易・投資の推進の取組を継続していくべきである。

それと同時に、現在の国際経済情勢に特有の潮流、時代の要請を十分に反映しながら、日米両国がその関係を基盤として推進していくための具体的分野として、以下の 10 の分野を提言する。

インフラ

日米が先端技術を主導する形での協力

エネルギー

あらゆる人々が活躍できる経済実現に向けた諸課題及び知見の共有

バランスのとれた金融監督行政の推進

経済統計の把握・分析手法に関する共同研究

双方の対内投資、観光客等の人的交流の促進

中国を国際社会の責任あるパートナーとなるよう導くための日米協力

地球環境・気候変動

グローバルヘルス分野、医療分野

提言Ⅱ：新時代の日米協力に見合う重層的対話を推進すべき

新時代の日米協力の対象分野は広範かつ多岐にわたるため、民間企業関係者、州政府を含む地方自治体、大学・研究機関、シンクタンク、NGO 等の専門家、議会関係者を含む様々なステークホルダーの関与及び参加を得た重層的かつ包括的な対話の枠組みを確立するべきである。

提言：自由貿易の推進に向けて日米はリーダーシップを発揮すべき

TPP 協定の早期発効に向けた取組を引き続き重視する観点から，安倍総理大臣とオバマ大統領は，協定の早期発効のためにリーダーシップを発揮しつつ努力すべきである。また，これらと並行して，米国議会のレームダック・セッションの推移を見極めつつ，今後の方策について更なる検討を進めておくべきである。

【国会での TPP 協定の早期成立を期待する】

TPP 協定の経済的・戦略的意義に鑑み，日本が率先して国内承認手続を完了すべく，政府は引き続き全力を尽くして取り組むべきである。

【米議会のレームダック・セッションにおける TPP 協定の成立を期待する】

レームダック・セッションでの審議の見通しは全く予断を許さず，決して楽観視できる状況ではないが，オバマ大統領が強力なリーダーシップを発揮し，TPP 協定承認が実現されるよう強く期待する。

【米国世論に働きかけていくべき】

米国政府が取り組んでいる世論対策に日本としても積極的に協力し，TPP 協定の主要パートナーたる日本からの声も，在米大使館及び各総領事館によるメディア発信や連邦議員（超党派の「ジャパン・コーカス」所属議員を含む），州知事等に対する直接的働きかけ等により，積極的に発信していくべきである。

提言：戦略的な官民のパートナーシップを推進すべき

【政府と民間の新たなパートナーシップの構築】

政府は，日本企業の発言力・影響力を日米間の関係強化及び諸課題への対処のためにどのような形で生かせるか等に関する官民対話を強化すべきである。

【民間企業の活動に対する政府の支援】

同時に，政府は，状況に応じ大使館・総領事館を含むネットワークを最大限に活用し，日本企業の米国における円滑かつ安定的な事業展開，直面する諸問題の解決努力を効果的にサポートしていくべきである。

（了）